

赤潮発生状況について

加藤 慎治・萩平 将

赤潮情報伝達事業の一環として、県下における赤潮発生状況を取りまとめたので報告する。なお、赤潮発生時などの情報収集、現場における赤潮の推移状況、被害発生調査等は前年と同様の方法で実施した。

結 果

表1に平成17年の赤潮発生状況，図1に赤潮発生件数と被害件数の推移，図2に赤潮形成域の分布をそれぞれ示した。本年は6件の発生が認められ，前年より2件多かった。有害種による赤潮発生はなかったものの，7～8月に阿南市榑泊湾で発生した*Gonyaulax polygramma*による赤潮では，湾内で局所的に増殖し高密度となった結果，養殖マダイが酸欠によりへい死し漁業被害が発生した。

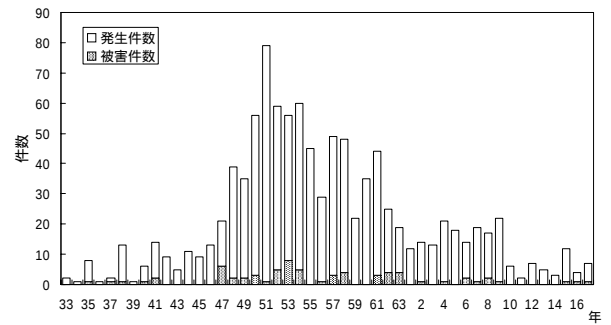


図1 赤潮の発生件数と被害件数の推移

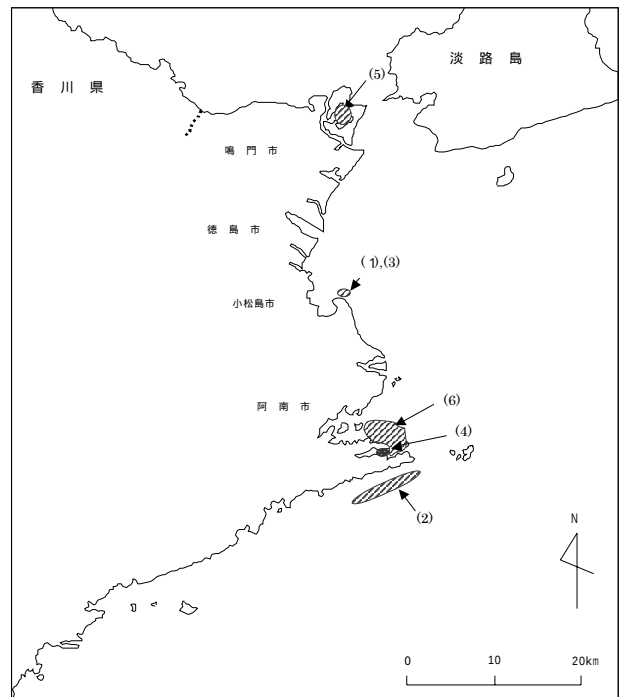


図2 赤潮形成域の分布

図中の番号は表1に示した赤潮の番号を示している。

表1 平成17年の赤潮発生状況

整理 番号	発生期間	日数	発生海域	赤潮構成種	漁業 被害	最高細胞数 (cells/ml)	備考
1	4/18～4/25	8	小松島湾	<i>Eucampia zoodiacus</i>	無	405	
2	4/21～4/26	6	由岐町沿岸	<i>Noctiluca scintillans</i>	無	不明	
3	7/12～7/19	8	小松島湾	<i>Chaetoceros sp</i> <i>Skeletonema costatum</i>	無	不明	
4	7/18～8/17	31	椿泊湾	<i>Gonyaulax polygramma</i>	有	30 000	椿泊湾内で養殖マダイ がへい死
5	8/22～8/27	6	内ノ海	<i>Fibrocapsa japonica</i>	無	1 236	
6	8/28～9/6	10	橘・椿泊湾	<i>Mesodinium rubrum</i>	無	53 600	